

## 伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 上田 宗久
研修会名	名新名阪連絡道路有識者委員会（第3回）	
日 時	6月6日15時～17時	
場 所	滋賀県危機管理センター	
<p><b>【研修の成果】</b></p> <p>（当日の会議のためのレジメは、傍聴者の机には配布されていたが、持ち帰りは禁じられていた。そのため、この議事概要とその時のレジメは、後に閉じさせて頂きましたが、会議終了後、滋賀県のホームページに公開された後に、伊賀市議会事務局に送付されてきたものです）以下はその中から抽出したものです。</p>		
<p><b>委員からの主な意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「雨量による規制と事故による規制は性質が異なるため、それぞれの要因をより詳細に整理できると良い」</li> <li>・「整備効果の評価をより定量的に検討していくことが望ましい」</li> <li>・「ドライバーの視点では、新名神高速道路は非常に快適で運転しやすい道路である一方、名阪国道は、心理的・肉体的負担が大きい道路である」</li> <li>・「本道路の整備後に、交通容量を超えるような開発が進まないよう、自治体と調整することが重要」</li> <li>・「能登半島地震等の被害事例を踏まえ、盛土部や液状化リスクの高い箇所への対策に留意すべき」</li> </ul>		
<p><b>第2回意見聴取（p1）方法（案）の提案</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な課題把握や優先区間の設定に向けて、アンケート結果をどのように分析し、その結果をどうまとめるか、整理すること」・「初めてアンケートを見た方でも理解し、答えやすいように工夫すること」</li> </ul> <p>今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より優先区間の呼称を「先行区間」などに変更する事を提案し、同意頂いた。</li> </ul> <p>⇒今後、「優先区間」という名称は、見直して行く方向で議論を進める」</p>		
費 用	旅費： 1,720円	研修参加費： 0円
合計： 1,720円		

# 旅程明細書

No.

旅行者	所属	伊賀市議会		氏名	上田 宗久	
用務名(目的・場所)	名神名阪連絡道路有識者委員会(第3回)					
	滋賀県危機管理センター(大津市京町4-1-1)					
用務従事期間 (時間)	従事 月日	6月6日		従事 時間	15:00 ~ 17:00	
直行直帰の別	直行直帰	直行元・直帰先住所		伊賀市大野木1408		

出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			食卓料	日当	宿泊料	備考
				路程	運賃	急行料金				
6月6日	柘植駅	JR	草津駅	36.7	860	円	円	円	円	
	草津駅	JR	大津駅	12.2						
	大津駅	JR	草津駅	12.2	860	円	円	円	円	
	草津駅	JR	柘植駅	36.7						
計					円	円	円	円	円	
				1,720						

1,720
-------

# 名神名阪連絡道路有識者委員会（第3回）議事概要

## 1.日 時

令和7年6月6日（金） 15:00～17:00

## 2.場 所

滋賀県危機管理センター 災害対策室3・4



## 3.出席者（五十音順、敬称略）

〔委員長〕立命館大学教授 小川 圭一

〔委員〕三重大学教授 朝日 幸代

一般社団法人滋賀県トラック協会 滋賀県トラック女子部会長 平川 千波

立命館大学教授 深川 良一

名城大学教授 松本 幸正

## 4.目 的

本委員会は、「優先区間」の設定に向けて、地域特性・道路交通状況や課題を共有したうえで、住民等意見聴取（PI）方法および今後の進め方等について議論を行うもの

## 5.議 事

- （1）優先区間の絞り込み方針の提示、（2）地域特性・道路交通状況と課題の共有、
- （3）第2回意見聴取（PI）方法（案）の提案、（4）今後の進め方について

## 6.委員からの主な意見

### （1）優先区間の絞り込み方針の提示、（2）地域特性・道路交通状況と課題の共有

- ・「雨量による規制と事故による規制は性質が異なるため、それぞれの要因をより詳細に整理できるとよい」
- ・「本道路の必要性を明確にしていくうえで、整備効果の評価をより定量的に検討していくことが望ましい」
- ・「ドライバーの視点では、新名神高速道路は、非常に快適で運転しやすい道路である一方、名阪国道は、心理的・肉体的負担が大きい道路である」
- ・「本道路の整備後に、交通容量を超えるような開発が進まないよう、自治体と調整することが重要」
- ・「能登半島地震等の被害事例を踏まえ、盛土部や液状化リスクの高い箇所への対策に留意すべき」

### （3）第2回意見聴取（PI）方法（案）の提案

- ・「広域的な課題把握や優先区間の設定に向けて、アンケート結果をどのように分析し、その結果をどうまとめるか、整理すること」
- ・「初めてアンケートを見た方でも理解し、答えやすいように工夫すること」

### （4）今後の進め方について

- ・今後の進め方について、同意いただいた
- ・事務局より「優先区間」の呼称を「先行区間」などに変更することを提案し、同意いただいた  
⇒今後、「優先区間」という名称は、見直していく方向で議論を進める

めいしん めいはん れんらく どうろ  
**名神名阪連絡道路**  
**有識者委員会**  
**【第3回】**

令和7年6月6日（金）

滋賀県 道路整備課・三重県 道路企画課

目次

1

1. 第2回有識者委員会意見と対応	・・・ 2
2. 優先区間の絞り込み方針	・・・ 4
2-1. 対象地域	
2-2. 優先区間の絞り込み手続きについて	
2-3. 優先区間の絞り込みの方針	
3. 地域特性・道路交通状況と課題	・・・ 8
3-1. 道路の利用特性	
3-2. 防災	
3-3. 物流	
3-4. 安全	
3-5. 観光	
4. 第2回意見聴取方法（案）	・・・ 36
4-1. 第2回意見聴取の主旨	
4-2. 意見聴取方法と対象者	
4-3. 意見聴取項目と活用方針	
4-4. 第2回アンケート（案）	
5. 今後の進め方（予定）	・・・ 45



## 名神名阪連絡道路有識者委員会（第3回）の開催について

名神名阪連絡道路について、事業計画の具体化に向けて検討を進めています。

令和6年11月開催の第2回有識者委員会では、早期効果発現を目指すための提案として課題が多く緊急性が高い区間を「優先区間」として設定し、検討を進めることとなりました。

この決定を受け、第3回有識者委員会では、「優先区間」の設定に向けて、地域特性・道路交通状況や課題を共有したうえで、住民等意見聴取(PI)方法および今後の進め方等について議論を行います。

### 日時

令和7年6月6日(金) 15:00~17:00

### 会場

滋賀県危機管理センター1階 災害対策室3・4 (大津市京町4-1-1)

### 議事

- 優先区間の絞込み方針の提示
- 地域特性・道路交通状況と課題の共有
- 第2回意見聴取(PI)方法(案)の提案
- 今後の進め方について

### 傍聴および取材について

- 本委員会は公開で行いますので、どなたでも傍聴いただけます。
- 傍聴・取材を希望される方は、6月5日(木)12:00までに、傍聴・取材申込書(別紙)を下記の問合せ先まで提出してください。
- 定員(傍聴席20席、報道関係者席5席)を超える申込があった場合は先着順とさせていただきますので、予め御了承ください。

### 事務局・問合せ先

(事務局) 滋賀県土木交通部道路整備課および三重県県土整備部道路企画課

(問合せ先) 滋賀県土木交通部道路整備課

TEL : 077-528-4142

FAX : 077-528-4903

Mail : ha03@pref.shiga.lg.jp